

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU NETWORK NASU

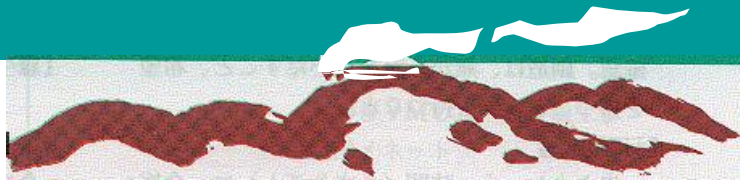
CHARTERED 1995



2015~2016年度 No.198

7月 月報

那須クラブ会長 主題
拓こう 築こう ワイズの世界



強調月間：・キックオフ ・YMCA サービス
・ASF (YMCA 若手主事の育成)
・RBM (マラリア撲滅関連事業)

那須ワイズメンズク



6月例会(那須YMCA活動報告会) 6月24日

2016~2017年度 主題
国際会長：(IP) Joan Wilson (カナダ)
「私たちの未来は、今日より始まる」
アジア地域会長：(AP) Tung Ming Hsiao(台湾)
「ワイズ運動を尊重しよう」
東日本区理事：(RD) 利根川 恵子(川越)
「明日に向かって、今日働こう」
北東部長：長岡 正彦(もりおか)
「明日のために、今土台を築こう」

クラブ役員 事務局
会長：田村 修也
副会長：村田 榮
河野 順子
書記：荒井 浩元
会計：鈴木 保江
担当主事：荒井 浩元
ブリテン：田村・村田

6月例会データー(出席率：83.3%)
在籍者 6名
例会出席者 5名 メネット 3名
ゲスト：2名

今月の聖句
あなたがたは、恵みにより、信仰によって救われました。このことは、神の賜物です。
エフェソ2：8

東京目黒クラブ 那須クラブ
7月 Happy Birthday
16 山梨雄一ワイズ 8 村田紀美子メネット
11 鈴木保江ウィメン

副会長 河野順子

はなしのは・な・し パート2

アンコールはなかったのですが、続「はなしのは・な・し」を書かせていただきます。それだけに、歯は体の中で非常に大切な器官であることを認識しているからです。

さて今回は、前歯について書きましたが、今回は犬歯と奥歯について、そして歯および口の中が全身に及ぼす影響について書いてみたいと思います。犬歯は、前歯の隣にあります。糸切り歯ともいい、私が子供のころ母は、縫物をしていて身近に握りばさみが見当たらないと糸を犬歯で切っていました。八重歯はこれですね。前歯と奥歯の分岐点になる歯です。すべての歯の中で根っこが一番長いのです。つまり、非常に強い力を受けることができます。下あごを左右に動かすと、犬歯にあたり他の歯は浮きます。八重歯の場合は、上下の歯が当たらず、本来の機能を発揮しなく、他の歯や顎を動かす筋肉にも大きな負担がかかるので要注意です。機能がある限り、犬歯を失うと口元が貧弱に見えるそうです。審美的に八重歯を抜いてしまう話がありますが、将来的には問題があるそうです。

次は小臼歯です。犬歯の奥に上下左右2本ずつ、合計8本あります。小さな臼のようでその名がついたようです。前歯や犬歯より少し分厚くなっています。矯正治療では、この歯が抜かれるようですが、小臼歯には上下の噛み合わせを決める要素があります。下あごが不必要に後ろ（奥）に下がらないようにするストッパーの形が小臼歯に刻まれています。もし、小臼歯がなくなったら、上下のあごの位置が決まりにくくなり、噛み合わせも不安定になります。噛み合わせが不安定になると、あごの関節にも影響が出てくる場合があります。つまり、小臼歯は、食事の時だけでなく、人間の体のバランスを機能的に保つためにも大事な歯といえます。次にどっしりとした大臼歯、小臼歯の奥にあります。第一、第二、第三大臼歯があり、第三大臼歯は親不知歯で、親不知歯は現代人では埋まってしまって出てこなかったり、初めからそのものがないこともあるそうです。第一大臼歯は6歳頃、第二大臼歯は12歳頃に生えるため、6歳臼歯・12歳臼歯と呼ぶこともあるそうです。第一大臼歯の食べ物を噛み潰す力は最大です。また上下の歯をしっかりと噛みしめたとき（喰いしばった時）、噛みあう高さを決定し、保つ役割を

果たしている重要な歯です。もし、第一大臼歯を失うと噛む力は激減し、失ったままでは周りの歯が移動して噛み合わせが崩れていきます。

歯はそれぞれ役割があって、すべての歯が調和をもって存在します。理由がどうであれ、どれかなら無くてもいいわけではありません。親不知歯は別として、すべての歯を大事にしなければなりません。すべての歯の形は、あごの関節の動く角度と密接な関係があります。機能や役割に見合った規則性のある並びになっています。

以上、歯について学びました。

ところで、平成25年の日本人の平均寿命は、女性86.61歳、男性が80.21歳で、世界でトップクラスの水準です。私たちの生命活動は、言うまでもなく食べることによって支えられています。食べるために必要な器官が歯です。しかし歯の寿命は、長くなった平均寿命に追いついていきません。では、歯を失う2大原因は？…それは歯周病と虫歯。歯周病は、糖尿病や心臓病と同じ仲間の生活習慣病に位置付けられているようです。

ここで、この原稿を作成している今日(2016年6月24日)の朝日新聞夕刊に気になる記事がありました。妻の8割「夫の口臭になる」という見出しです。一方、妻の口臭が気になる夫は6割とする調査結果を日本歯科医師会がまとめたそうです。年齢を重ねるごとに夫は妻の口臭を気にしなくなるが、妻は夫の口臭がずっと気になっているという傾向も見られたといえます。既婚者で配偶者の口臭が気になると答えた割合は女性が84%、男性は59%。年代別でみると、男女とも年代が上がるにつれて減る傾向にあるが、最も多い20代では女性が87%、男性72%なのに対し、最少の70代では、女性77%、男性56%と差が開いたそうです。また、恋人の口臭が気になると答えた独身の人は女性58%、男性40.5%で配偶者より少なかった。自分の口臭が気になった経験があるのは女性85%、男性76%。「口臭のほとんどが歯周病や虫歯などの口の中の病気に原因がある」と知っている人は全体で66%いたものの、「病院に行く」と答えた人は9%に留まったということです。日本歯科医師会は「女性の方が口臭に敏感なのに加え、男性は口臭の原因になる喫煙や飲酒をする人が多い。気になる人はまずは歯科医を受診し、口内環境を見つめ直すきっかけにしてほしい」としている。とありました。

ちょうど良い機会かと思います。口内環境を整えて8020をめざしましょう。

6月例会(那須YMCA会員の集い) 報告

日 時：6月24日(金)午後6時30分～

場 所：西那須野教会1階ホール

参加者：メン：田村会長、河野副会長、村田副会長、原田、荒井。メネット：原田、村田、田村。ゲスト：とちぎYMCA理事長鷹箸孝、とちぎYMCA総主事塩澤達彦(いずれも宇都宮東) 合計：10名。

6月例会では、「2016年度那須YMCA会員の集い(活動報告会)」への参加ということで、西那須野教会にて例会を行いました。まず、那須ランチ委員長の田村修也さんの挨拶からこの会が始まりました。田村さんの話の中で、とても大切なキーワードを聞くことができました。それは、那須YMCAの『三人の恩人』(①福本治夫牧師、②楡井一俊先生、③一木慎司さん)、『四つの働き』(①西那須野教会、②西那須野幼稚園、③エルム福祉会、④アジア学院)です。那須YMCAの歴史は常にこのキーワードと共に歩んでいることを学ぶことができました。

そして、例会恒例のカレーライスを取りながら、荒井による2015年度の活動報告をいたしました。その後、鷹箸理事長と塩澤総主事から、那須YMCAは事業運営にのみ徹するのではなく、『YMCA運動』もより強化していこうと話がありました。県北地域にYMCAがいて良かったと地域の方が思ってくださいるように、私たちはこれからどう歩いていくのか、参加者全員で意見交換を行いました。参加者のみなさんは熱い思いでこの意見交換に参加してください、沢山の貴重なご意見をいただくことができ、子どもたちを中心とした地域の居場所・サロンとなるよう、『子ども食堂』や『学童クラブ』の開設という那須YMCA将来への方向性を見出すことができました。

今回の例会(那須YMCA会員の集い)では、将来の那須YMCAの可能性と方向性を考える貴重な時間となりました。ここで見出した方向性は、着実に実現できるよう、総主事とともに行動に起こしていきたいと思っております。この度はご参加頂きどうもありがとうございました。(記録：荒井)

6月役員会報告

日 時：6月11日(土)12:30～

場 所：ひかりのカフェ蜂巢

出席者：田村会長、河野副会長、村田副会長、田

村メネット、

協議事項

1. 6月例会の件

6月24日(金)午後6時30分～。場所：西那須野教会。内容：とちぎYMCA報告会に参加。リーダーや協力会員の参加を含めて開催する。食事はカレーとする。

2. 2016～2017年度事業計画について
田村会長より提出された資料に基づき協議する。

3. 7月役員会について

7月7日(木)午後6時30分よりココス西那須野乃木店にて開催する。

協議内容は7月例会、8月例会、その他、ブリテンの原稿

4. 7月号ブリテンの内容について

西那須野幼稚園、社会福祉法人エルム福祉会で掲載をする。巻頭言は、河野メン。「ユースリーダーのつぶやき」。

5. その他

・シイタケ昆布の購入は、250gで100個を仕入れる。

・6/26(日)とちぎYMCAチャリティーランへ村田メン・メネットで参加し、シイタケ昆布の販売をする。

旧西那須野(那須西原)の緑と水(40回)

田村修也

那須開墾社と肇耕社提携して県に提出した請願書は次の通りです。

「抑も当東西両原は、地味膏腴氣候温暖、最も耕作に適し、興産を勉むる今日に於て、一日も之を捨つべからざるは勿論、故に頃時遠近の有力者、志を此地に懐き、来て開墾に従事せんとする者、日を追って多く、実に我国方今の美事と存候。然るに、此原野たる、往古より犁鋤加えず、民舎建たず、空しく荒蕪に委するもの、千百年、其間一二の開墾を企て候者有之と雖も、皆その功を奏せずして止みし所以は、職として水利の乏しきに由らざるはなく、既に萬治年間に於て、長島某なるもの、那珂川原より一条の水路を疏し、以て原野の開墾に着手候処、民の戸を移す者数百、己に一大村落を為し候得共、当時民力萎微、工事未だ巧ならざるより、堤防一欠復た修む可らざるに至り、民亦離散して遂に其跡を没し、今日においては、僅かに一大堀形を存する耳に御座候、其他此般の例は、之を近代に徴するも、尚ほ甚だ少しとせず。

由此觀之、水路疎通の、開墾事業と相俟て、欠く可からざるは固より言を俟たず。況んや、方今耕作上に最も至要とする牧畜の如き、馬耕の如き、一条水路の原中を通ずるに非ざれば、殆んど其生息にも苦しみ、今や將に興らんとするの産業も、復た或は之を廢するに至る可しと被存候。是を以て、昨明治十二年、水路開さくの儀につき、己に閣下より内務卿へ上申の趣も有之、現今、水量実検中に候此、其目的たる太だ汎大にして、一は以て水田の用に供し、一は以て舟楫の利を開くに在り、故に土工至難経費巨額、実に容易の事業に無之候。然るに今回の事たる、稍や之と異なり、要する所専ら飲料水の一点に有之候故、勉めて土工を縮少し、極めて費用を減却し、而して事業輕易其成功を見る必らず日を期して待つべき事と存候。彼の水田の用、舟楫の利の如き、因より至要の件なりと雖も、目下の事情に於て之を望むに違あらざるなり。

以上開陳する所の目的に拠って、今回尚又実地の測量を遂げ、其費用の概算致候処、凡そ二万二千七百七円あるを以て充分の見込に御座候間、右水路の儀は、宜しく官府の力を以て御開さく相成度、然るときは、遠近の有力者亦一層奮発し、開墾年を積むに至りては、古来不毛の地、遂に一面の耕地たるに至る可しと存候。仍て、願意速かに御採納被下候、此段、目論見仕様帳、及粗図面相添上願仕候也。

明治十三年九月

鹿児島士族 三島弥太郎

同県 士族	久留 清隆
那須郡芦野宿	加藤 義一
同郡 鍋掛村	西山真太郎
同郡大田原宿	田代荒次郎
同郡佐久山宿	印南 文作
塩谷郡矢板村	矢板 武
芳賀郡下籠谷村	野沢泰次郎
上都賀郡久野村	安生順四郎

栃木県令 鍋島 幹殿

前書之出願に付進達候也。

栃木県那須郡長	藤田 吉享
栃木県塩谷郡長	坂部 教宣

明治13年9月には、肇耕社の代表者は三島通庸から子爵三島弥太郎に受け継がれていたことがわかります。三島弥太郎は前述のように、信仰の篤いクリスチャンでした。那須育児暁星園の本郷定次郎たちを三島開墾に受け入れ、支援致しました。本郷定次郎の告別式には・・・この件は別途記

載することに致します。今、私たちは、那須疏水が完成し、開拓が那須西原、那須東原全域において成功し、緑なす森や林、田植えを終え、水を一面に張った水田では、早苗が緑の風を受けてすくすくと育っている姿を目の当たりにしながら毎日を過ごしています。その今の時点から、この請願書を読むと、先駆者たちのいのちを賭けた偉大な志が胸に迫って来て、感無量です。この大事業にチャレンジした印南さん、矢板さんはじめ、無名ともいえる開拓者のお一人お一人に、今の那須野の大地を見せて上げたいです。この那須野の大地は、誰のものでもありません。開拓に携わった皆さんお一人お一人のものですと。（以下次号へ）

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園 西那須野幼稚園
園長 福本光夫

最近、幼児期の教育が幼児期だけでなく、生涯に渡って良い影響を与えることが、脳科学も含めた研究結果として報告されている。このような根拠のある諸研究の結果を受けて、欧米各国は、国家戦略の1つとして乳幼児期の教育・保育に力を入れ、保育料の無償化や保育の質の向上等の政策に力を入れている。そして、周回遅れの日本においても、欠陥はあるが乳幼児保育新制度がはじまり、東京大学には発達保育実践政策学センターが設立されたところでもある。

さて、それらの研究のなかでもアメリカのジェームス・ヘックマン(ノーベル経済学賞受賞者)の追跡調査・研究は、各国の政策に影響を与えているものの一つである。

ヘックマンの報告によると、ミシガン州シカゴのイプシランティの低所得のアフリカ系の58世帯の子どもを対象に行われたペリー就学前プロジェクトは、子どもたちに、3歳から5歳まで幼児教育を受けさせ、家庭にも週1度教師が訪問し教育をしたグループと何もしなかったグループを、40歳時点まで追跡調査を行った。その結果が下のグラフである。つまり、幼児教育を受けた子どもは、受けない子どもに比べ、教育効果、40歳時点での経済効果、そして、40歳時点での逮捕者率において全て優位性が見られた。つまり、幼児期の教育は幼児期だけではなく、生涯に渡って良い影響を与えるというものである。経済的にも、市民として納税者が増え、生活保護や刑務所の社会保障費の支出が減る。控えめに見積もっても、

乳幼児期に国が投資すると、6～10%の利益となって戻ってくると報告している。私は、格差社会の進む日本を考えると、再配分ではなく、保育料の無償化等の事前配分(人生前半の福祉)政策を積極的に進める必要を感じる。

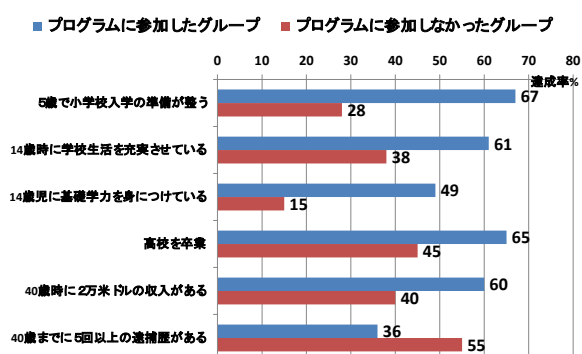
教育内容も変わりつつある(しらゆり 2016年7月8日加筆修正)。

エルム福祉会蜂巢小珈琲店雑記

旧黒羽町(現在は広域合併により大田原市)は昭和57年6月に町史を発行しました。その第6章教育機関第1節小学校の項で、1番目に川西小学校、2番目に記載されているのが蜂巢小学校です。これは川西小学校が明治7年5月10日に常念寺本堂を仮校舎に充て開達校と称して建てられ、蜂巢小学校はその開達校の分校として明治8年9月に開校したからです。開校時は蔵針舎と称しました。「蔵針」とは「自分の生き方を見つけるためにしっかり勉強すること」という意味だと記されています。因みに旧黒羽町は明治22年制定の町村法により昭和20年まで黒羽町、川西町、須賀川村、両郷村の2町2村でした。同じ町内の寒井小学校も明治7年5月10日川西小学校と同じ日に与楽寺と仮校舎として開校、誠明舎と称しました。寒井(さぶい)という地名は旧奥州街道の要所で源義経主従の伝説が沿道に散在し、那珂川の橋近くには義経の矢衣となった佐藤継信の廟もあります。そこは那珂川と黒川(余笹川はすぐ上流地点で合流)の合流地点で、広瀬の渡しがありました。寒いは少ないという意味もあるそうで、河岸段丘で砂礫地であるために井戸が少なかったのに由来するという説と、那須氏が川田に居館を構え、高館に砦を築くにあたって、白虎の地(四神のひとつ。白五行説では西方に配する)「寒井」に長道を開き、向宿を設け、侍を居らしめた「侍居」とする説があります。この高館城を源平合戦の後、那須の与一族を鎌倉勢の梶原景時軍が攻めて戦闘になっています。余談ですが、私の父の実家はこの川田でしたので、子どもの頃従兄弟が集まって夏休み中祖母と共に過ごしました。勿論広瀬の渡し舟は馬も一緒にのりましてし、高館山は少年たちの格好の遊び場でした。今では林道が開設されて、頂上付近に駐車場が出来ていますので、そこから旧馬場を歩いてすぐに頂上の城跡に行けます。眼下には那珂川と黒川が見え、西には那須野ヶ原が一望でき、北から西にかけて那須連山の雄大な姿が望めます。

本題に戻りますが、「那須郡誌」には「もと蜂の巣村と多賀村が合わさって蜂巢村となった。蜂の巣村は久寿2年(1155)三浦大介義明が、那須野に九尾の狐狩をした時、大きな蜂の巣を発見

ペリー プリスクール研究 40歳時の主な結果



出典Schweinhart,L.and Montie(2004), "Significant Benefits: The High/Scope Perry Pre-school Study through Age 40", High/Scope Educational Research Foundation, OECD保育白書 明石書店 P119

この研究のもう一つの注目すべき成果は、今まであまり考えられてこなかった非認知能力にスポットが当たったことである。被験者である子どもたちのIQは、幼児期においては幼児期教育を受けている子どもたちのグループが断然高い。しかし、3年後のIQはほぼ同じになる。IQは同じになるが、その後の人生も違ったままである。つまり、一般的な学力も必要であるが、IQ以外の非認知能力がこの時期に培われ、その大切さが根拠に基づいて実証されたことである。

ところで、アメリカのデューク大学のキャシー・デビッドソンさんが、「2011年度にアメリカの小学校に入学した子どもたちの65%は、大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう」と推測している。また、未来学者のトーマス・フレイさんは、「20年後に、今ある仕事の50%が無くなる」と推測している。これからの正解の無い時代生きる子どもたちにとって、一般的な学力に加えて、非認知能力が要求される。

それでは、必要とされる非認知能力とはどのようなものなのか?現在いわれていることが、①折れない心(レジリエンス)、自己統制力(感情・意思・行動)、(価値観の違う人たちと)一緒にやり遂げる力である。そして、その基礎が遊びである。しかし、日本において子どもを取り巻く環境が、宮崎駿さんのトトロに代表される昭和30年代の環境とは異なり、自然もコミュニティーも消失し、もはや地域で異年齢の子どもたちが遊ぶ環境は無いに等しい。そこで、非認知能力を培う土台としての遊びが幼児期の教育に求められてきている。本園の

したのでこの称が起こる」とありますが、更に、大きな蜂の巣があったから「蜂巢村」になったのは、少し漢字にこうでした付会（こじつけ）の地名の解釈ではないだろうか。蜂は鉢形の地形の意であり、巣は、中洲とか須田、須成（スナリ）などの「ス」即ち砂地の意と解してみてもはどうだろうか、と書かれています。

黒羽町史では「蜂巢は町の西部に位置している。那須扇状地の扇端湧水地帯に属し、大部分は平地である。歴史的に久しく乾燥面として放置されてきた台地と湧水を利用し、湿田が見られた低地が交差している。低地は豊富な湧水を集め、北西から南東に向かって走る大清水が開析を進めている。※開析：地上の起伏に多数の谷が切れ込んで河川が浸食する作用。

ここは荒野であったことと、「大将道」（関街道）と呼ぶ古道が通じ、中世の館もあったことから、早くから人口に膾炙していた（広く知れ渡っていた）土地である」と記載されています。※那須郡誌には「蜂巢の狐塚腑大岡裁判」という項がありますが、このことは別途機会があれば、また紹介いたします。（田村記）

第11回とちぎYMCAインターナショナル・チャリティーラン2016

この度は、標記大会の開催趣旨をご理解頂き多くの皆様よりご支援ご協力いただきましたことに感謝申し上げます。又、村田メン・メネットは当日ご参加をいただき、那須ワイズによる、シイタケ昆布の販売で、大会の盛り上げにご協力をいただき感謝します。

6月26日（日）、栃木県総合運動公園陸上競技場とその周辺を会場に、盛会のうちに開催することが出来ました。数日前の天気予報では雨マークがついており心配しましたが、当日は晴天に恵まれ、むしろ暑いぐらいの陽気になりました。メイン競技の「たすきリレー」には57チーム285名のランナーが参加しました。その他、85名余りの障がい者、252名のボランティア、94名のスタンプラリー参加者、そして13の協力団体の方々など、総勢810名の参加を得て開催することができました。今回よりチャリティーランにお越し頂いた方々と思いをついに陸上競技場を一周する「エンジョイラン」を考え実施することができました。また、毎年協力してくださる「よさこいグループ 勢や」のパフォーマンスに会場盛り上がる事ができました。この大会が企

業と市民の協働として更に広がりを見せ「障がい者と全ての人々がともに健康で幸せな暮らしができるノーマライゼーション社会」づくりの一助となることを願い今後ともご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。



今後の予定

・7月役員会

日時：7月7日（木）午後6時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

内容：7月例会、年間事業計画、8月号ブリテンの発行等。

・7月例会（キックオフ例会）

日時：7月22日（金）午後6時30分～

場所：西那須野教会

内容：年間計画について、パソコン教室（パソコン持参し、知りたいことを質問）

・第1回北東部評議会

日時：7月16日（土）午後1時～

場所：盛岡市岩山展望台「喫茶 GEN・KI」

参加費：2,500円

・8月役員会

日時：8月5日（金）午後6時30分～

場所：西那須野教会

内容：8月例会、9月予定の確認、ブリテンの発行等。

・東京目黒クラブの予定

7月例会：7月13日（水）午後1時30分～

8月例会：8月27日（土）村野ワイズ宅

YMCA 報告

【とちぎYMCA・那須YMCAの7月の予定】

- ・7/1 (金) ICEPメンバー(メンバー14名・引率リーダー2名)来日 ※ステイ先: わいわい道場宿
- ・7/2 (土) サタデークラブ@八幡山公園
- ・7/6 (水) 賛助会総会@ホテルニューイタヤ
- ・7/9 (土) サタデークラブ@西那須野幼稚園(染め物体験)
- ・7/9 (土) とちぎYMCA 会員の集い@宇都宮市青少年活動センター
- ・7/10 (日) Yキッズ@板荷せせらぎプール
- ・7/11 (月) ボランティアスクール説明会@宇都宮市青少年活動センター
- ・7/16 (土) 那須YMCA英会話クラスサマーパーティー@那須YMCA
- ・7/25 (月) よりサマープログラムがスタート
- ・7/31 (日) ICEPメンバー帰米

第19回東日本区大会報告

副会長 村田 榮

6月4日(土)～5日(日)の両日長野市で開催された、第19回東日本区大会にメネット共に参加してきました。東西のワイズ4数十名の参加があった。メネットは、10時30分からのメネットアワーからの参加。退会は、12時30分からのオープニング(長野青少年少女合唱団による歓迎の歌)・バナーセレモニーで始まり、開会宣言、来賓祝辞。東日本区アワー(1)の年次報告。熊本地震に対す報告が岩本西日本区次期理事よりあり、被害状況や熊本YMCA及び熊本地区のワイズの貴重な働き的一端を知ることが出来ました。16時からの長野プレゼン「ワイズにひかれ 善光寺」、天台声明・善光寺詣り(絵解き口演)、信州に縁の曲を一緒に歌いましょうのコーナーは、心なごみ、素晴らしいひと時でした。その後晩さん会会場に移り、美味しい食事をいただきながら東京目黒クラブとの交流等を行いました。翌日は、9時からの東日本区アワー(2)の事業主任報告・表彰式。理事引継ぎ式・次期理事所信表明。閉会式。那須クラブは、ユース事業(YIA事業・ロースター広告協力賞)、会員増強事業(ノンドロップ賞)の表彰を受けました。東京目黒クラブは、ほとんどの部門で表彰を受けられておりました(見習いたいものです)。CS活動写真展の応募に対しては、残念

ながらダメでした。他のクラブの写真を通して素晴らしい活動を垣間見ました。渡辺理事から利根川理事へ東日本区が引き継がれて新しい体制が始まりました。那須クラブも会員増強に努め、新しい気持ちで進んでいきたいものです。もっとお伝えしたいことはいっぱいありますが紙面の関係で割愛し、例会での報告とさせていただきます。

ユースリーダーのつぶやきコーナー

【ヤンリーダー 金安 理香】

私は野外クラブという活動に、月に1回参加しています。昨年度は春を探しに山登りをし、夏はびしょ濡れになるまで川遊びをしました！秋は子どもたちが畑でお世話をしやっとならせたサツマイモで焼き芋大会、そして冬には1泊2日のみんな大好き雪遊びキャンプが待っています！その他にもまだまだ楽しい活動が盛りだくさんです。

野外クラブに来てくれる子どもたちと関わる中で、子どもたち同士の絆や心の変化を間近に感じながら、自分自身も共に成長することができるそんな活動を一緒に作り上げたいです。



編集後記

1. 新しい年度が始まり、最初の月よりブリテンの編集が大変遅れて申し訳ありませんでした。全て小生が皆さんに連絡するのが遅くなり、原稿を集めることに躊躇したことが原因です。是非是非皆様のご協力をよろしくお願い致します。
2. ワイズの会費前期分25,000円を会計に早急にお納めください。東日本区とYMCAの会費を8月中旬には収めて糸思っております。是非ご協力ください。よろしくお願い致します。
3. 会員6名のままでは大きな活動ができません。会員増強のために皆様のお知り合いの方をご推薦ください。又、どのような活動が必要かの検討も行えればと考えております。